

様式集

様式1 建標承諾書

建 標 承 諾 書	
令和 年 月 日	
(あて先) 札幌市長	
所有者 住所	
氏名	
基 準 点 水 準 点 の名称及び番号	
名 称	標識番号
所 在 地	地 目
区	
上記所有地内に、札幌市〇〇点の標識を設置することを承諾する。	
注：この標識は、市で設置したもので各種測量の基準となる重要な標識でありますから、動かしたり破損したりしないよう御注意願います。 また、人為的に移動、破損のおそれがある時は、市〇〇局〇〇部〇〇課へ御連絡願います。	

※1 A4版（縦長）とする。
※2 氏名には、本人の署名又は押印が必要。

札幌市 公共基準点 測地成果2011
成果表及び点の記

世界測地系

点 名	()	1/5, 000図面番号		点の型式
所在地			地 目	
所有者				

<u>成 果 表</u> m B= ° ' " 縮尺係数 Y = - . L= H = - . 『ジオイド・モデル2011 ver2.1』 ジオイド高=				
視準点名	方 向 角	球面距離		備 考
真北方向角	° ' "	m		

N (写 真)						
選 点	令和	年	月	日	選 点 者	
埋 標	令和	年	月	日	埋 標 者	
観 測	令和	年	月	日	観 測 者	

様式3 基準点 成果表及び点の記 (TS等)

地図整備「図根点」の場合は、
『図根点成果表及び点の記』とする。

基準点成果表及び点の記						
点 名		1/50,000図面番号		点の型式		
所在地				地 目		
所有者						
成 果 表 測地系 : 世界測地系 平面直角座標系 : XII系 B = L = 縮尺係数 = X = - . m Y = - . H = - . ジオイド高 柱石長						
視 準 点 名	方 向 角		距 離	備 考		
	+ ° ' "		m			
N 要 図 (縮尺 : 1/)  根点) の場合は 『近景写真』を添付 根点) の場合は 『遠景写真』を添付						
選 点	令和	年	月	日	選 点 者	
設 置	令和	年	月	日	設 置 者	
観 測	令和	年	月	日	観 測 者	
改 埋	令和	年	月	日	改 埋 者	
改 埋	令和	年	月	日	改 埋 者	

※1 A4版(縦長)とする。
※2 本様式は、TS等による測量で、基準点(永久標識)を設置した場合に適用する。
※3 本様式は、地図整備事業で「図根点」を設置する場合に準用する。

様式4 基準点 成果表及び点の記 (GNSS)

地図整備「図根点」の場合は、
『図根点成果表及び点の記』とする。

基準点成果表及び点の記					
点 名		1/50,000図面番号		点の型式	
所在地				地 目	
所有者					
成 果 表 測地系 : 世界測地系 平面直角座標系 : XII系 B = L = 縮尺係数 = X = - . m Y = - . H = - . ジオイド高 柱石長					
視 準 点 名	方 向 角		距 離	備 考	
	+ ° ' "		m	アンテナ高 m	
N 要 図 (縮尺 : 1/)  図根点) の場合は 『近景写真』を添付  図根点) の場合は 『遠景写真』を添付					
選 点	令和	年	月	日	選 点 者
設 置	令和	年	月	日	設 置 者
観 測	令和	年	月	日	観 測 者
改 埋	令和	年	月	日	改 埋 者
改 埋	令和	年	月	日	改 埋 者

※1 A 4 版 (縦長) とする。
※2 本様式は、GNSS測量で、基準点 (永久標識) を設置した場合に適用する。
※3 本様式は、地図整備事業で「図根点」を設置する場合に準用する。

様式5 水準点の記

水 準 点 の 記			
標識番号	第 号	1/50,000 図面番号	
所 在 地			
			地 目
所 有 者			
標識の種類	石 標 ・ 金属標	埋設法	地上(保護石 個)・地下
選 点	令和 年 月 日	選 点 者	
設 置	令和 年 月 日	設 置 者	
観 測	令和 年 月 日	観 測 者	
旧 埋 設			
周辺の目標			
そ の 他	測地系 (世界・日本) 座標系 (XII) X= Y=		
隣接点との距離	(: km) (: km) (: km)		
備 考			
N  要 図 (縮尺: 1/)			

※1 A4版 (縦長) とする。

※2 本様式は、水準測量で、水準点 (永久標識) を設置した場合に適用する。

※3 本様式は、路線測量で、仮BMを設置した場合に準用する。

様式6 公共基準点使用承認申請書

課 長	係 長	係

本件承認してよろしいか

公共基準点 使用承認申請書		
年 月 日		
(あて先) 札幌市長		
住 所 _____		
委託者 機関名 _____		
代表者 _____		
電 話 () _____		
公共基準点の使用について下記のとおり申請します。		
使用責任者	会社名 : _____ 氏 名 : _____ 電 話 : _____ FAX : _____ E-mail : _____ (土地家屋調査士, 測量士・補)	
使用目的	委託先担当者 ()	
使用期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (日間)	
使用する公共基準点の標識番号及び名称	No. _____ No. _____ No. _____ No. _____ No. _____ No. _____ No. _____ No. _____	
使用点数	計 点	受 付 印

様式 7 公共基準点使用承認書

(申請者) 様		承認番号		号								
		年	月	日								
札幌市長												
公共基準点 使用承認書												
公共基準点の使用を下記のとおり承認します。												
使用責任者	会社名： 氏 名： (土地家屋調査士，測量士・補) 電 話： FAX： E-mail：											
使用目的	委託先担当者 ()											
使用期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (日間)											
使用する公共基準点の標識番号及び名称	<table border="0"> <tr> <td>No. _____</td> <td>No. _____</td> <td>No. _____</td> <td>No. _____</td> </tr> <tr> <td>No. _____</td> <td>No. _____</td> <td>No. _____</td> <td>No. _____</td> </tr> </table>				No. _____	No. _____	No. _____	No. _____	No. _____	No. _____	No. _____	No. _____
No. _____	No. _____	No. _____	No. _____									
No. _____	No. _____	No. _____	No. _____									
使用点数	計 点											
使 用 条 件 1 設置箇所への立入 公共基準点の使用にあたり、特に学校・社寺及び民地等に設置してある点については、あらかじめ使用者から土地の所有者（管理者を含む）へ作業計画を伝え、事前に了解を得てから立ち入ること。 2 使用承認書の携行 本承認に基づく測量作業中は、本承認書を必ず携行すること。 3 保全 公共基準点保護蓋の着脱等取扱いについては破損の無いよう注意し、周辺を汚さぬよう作業すること。また、使用後は必ず施錠すること。 4 報告書の提出 本承認に基づく測量作業終了後、直ちに「公共基準点使用（利用）報告書」を提出すること。 5 疑義の協議 公共基準点の使用に際し、疑問等がある時は、(建) 測量課と協議すること。												

様式8 公共基準点使用通知書

区 土木部		事務連絡 年 月 日	
様		建設局土木部測量課長	
公共基準点 使用（利用）通知書			
下記の公共基準点において、測量作業が実施される予定がありますので、通知いたします。			
記			
使用(利用)責任者	会社名： 氏 名：（土地家屋調査士，測量士・補） 電 話：FAX： E-mail：		
承認番号 (契約番号)	号		
使用(利用)期間	年 月 日 ～ 年 月 日（ 日間）		
使用(利用)する 公共基準点の標 識番号及び名称	No. _____	No. _____	No. _____
	No. _____	No. _____	No. _____
記 事			

※1 本様式は、公共基準点の使用又は利用に適用する。

様式9 公共基準点使用報告書

課 長	係 長	係

公共基準点 使用（利用）報告書 年 月 日 （あて先）札幌市長 住 所 _____ 委託者 機関名 _____ （又は利用者名） _____ 代表者 _____ 電 話 () _____ 公共基準点の使用（利用）結果について下記のとおり報告します。											
使用(利用)責任者	会社名： _____ 氏 名： _____ 電 話： _____ FAX： _____ E-mail： _____ （土地家屋調査士，測量士・補）										
使用(利用)目的											
使用(利用)期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (日間)										
公共基準点の標識番号及び名称	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">No. _____</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">No. _____</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">No. _____</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">No. _____</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">No. _____</td> <td style="text-align: center;">No. _____</td> <td style="text-align: center;">No. _____</td> <td style="text-align: center;">No. _____</td> </tr> </table>			No. _____	No. _____	No. _____	No. _____	No. _____	No. _____	No. _____	No. _____
No. _____	No. _____	No. _____	No. _____								
No. _____	No. _____	No. _____	No. _____								
使用(利用)点数	計 点										
使用承認年月日及び承認番号	令和 年 月 日 (承認番号 号)										
結 果 (精 度)	標識番号（経路別）		精 度 ^注								
	No. _____ ～ No. _____		1 :								
	No. _____ ～ No. _____		1 :								
	No. _____ ～ No. _____		1 :								
	No. _____ ～ No. _____		1 :								
	No. _____ ～ No. _____		1 :								
特記事項	（不使用点、故障点、異常点、地表面からの凹凸の状況を記載）		受 付 印								
※1 精度の分母は、路線長（m）を閉合差（m）で割った値とする。 なお、精度が算出できない場合は、精度なしと記載する。 ※2 経路図及び使用結果（精度）が分かる資料（点検計算書、精度管理表、精度管理図等）を添付すること。											

様式10 街区基準点使用承認申請書

街区基準点使用承認申請書			令和 年 月 日
(あて先) 札幌市長			
委託者 住所 名称 氏名			
街区基準点管理保全要綱第4条第1項の規定により札幌市街区基準点等の使用について、下記のとおり申請します。			
使用目的			
使用期間		令和 年 月 日から令和 年 月 日まで	
測量地域			
使用する街区基準点等		計 点	
測量計画機関	名称		
	代表者氏名		
	所在地	TEL	
測量作業機関	名称		
	担当者氏名		
	所在地	TEL	
備考		注1 本件申請書は、2部提出してください。 2 使用する街区基準点等の配置図を添付してください。	

委託者 住所
名称
氏名

上記の札幌市街区基準点については、使用条件を附して承認します。

札幌市長

承認印

街区基準点使用条件

1 街区基準点の使用にあたっては、作業者は立入る施設の管理者にあらかじめ計画機関名、作業機関名、作業目的、連絡先などを連絡し、立ち入りの承諾を得ること。
2 施設内の立ち入りは、日曜祭日を除く午前9時から午後5時までを原則とする。ただし、管理者から指定された場合はそれに従うこと。
3 街区基準点の使用時は使用承認書を常時携帯すること。
4 使用にあたっては街区基準点の取り扱いに留意し保全に努めるとともに、周辺を汚さないよう努めること。
5 基準点本体及び立ち入り施設に損害を与えた場合は、原形復旧すること。
6 委託者は、測量標及びその周辺の現況や、測量付近に工事の予定がある場合は速やかに（建）測量課に連絡すること。
7 委託者は、街区基準点の使用を完了したときは、街区基準点使用報告書（様式第2号）を（建）測量課に提出すること。

様式11 街区基準点使用報告書

街区基準点使用報告書		
令和 年 月 日		
(あて先) 札幌市長		
委託者 住 所 名 称 氏 名 担当者		
街区基準点管理保全要綱第4条第1項の規定により街区基準点等の使用結果を下記のとおり報告します。		
使用目的		
使用期間	令和 年 月 日から令和 年 月 日まで	
測量地域		
使用した街区基準点等	計 点	
使用承認年月日及び番号	令和 年 月 日 札幌測承認第 号	
測量 作業 機関	名 称	
	担 当 者	
	所 在 地	TEL
使 用 結 果 (精 度)	No. ~ No. 相对精度1: No. ~ No. 相对精度1: No. ~ No. 相对精度1: No. ~ No. 相对精度1:	
特 記 事 項	(不使用点、故障点、異常点、歩道面からの凹凸の状況を記載)	

※1 精度の分母は、路線長（m）を閉合差（m）で割った値とする。なお、精度が算出できない場合は、精度なしと記載する。

※2 経路図及び使用結果（精度）が分かる資料（点検計算書、精度管理表、精度管理図等）を添付すること。

様式12 位置図

※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A4版又はA3版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。
- ※3 測量範囲を黒網掛け、当該地を黒太線又は黒塗りつぶしとする。

様式13 平均図



- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品する P D F ファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。

様式14 基準点経路図（TS等観測）

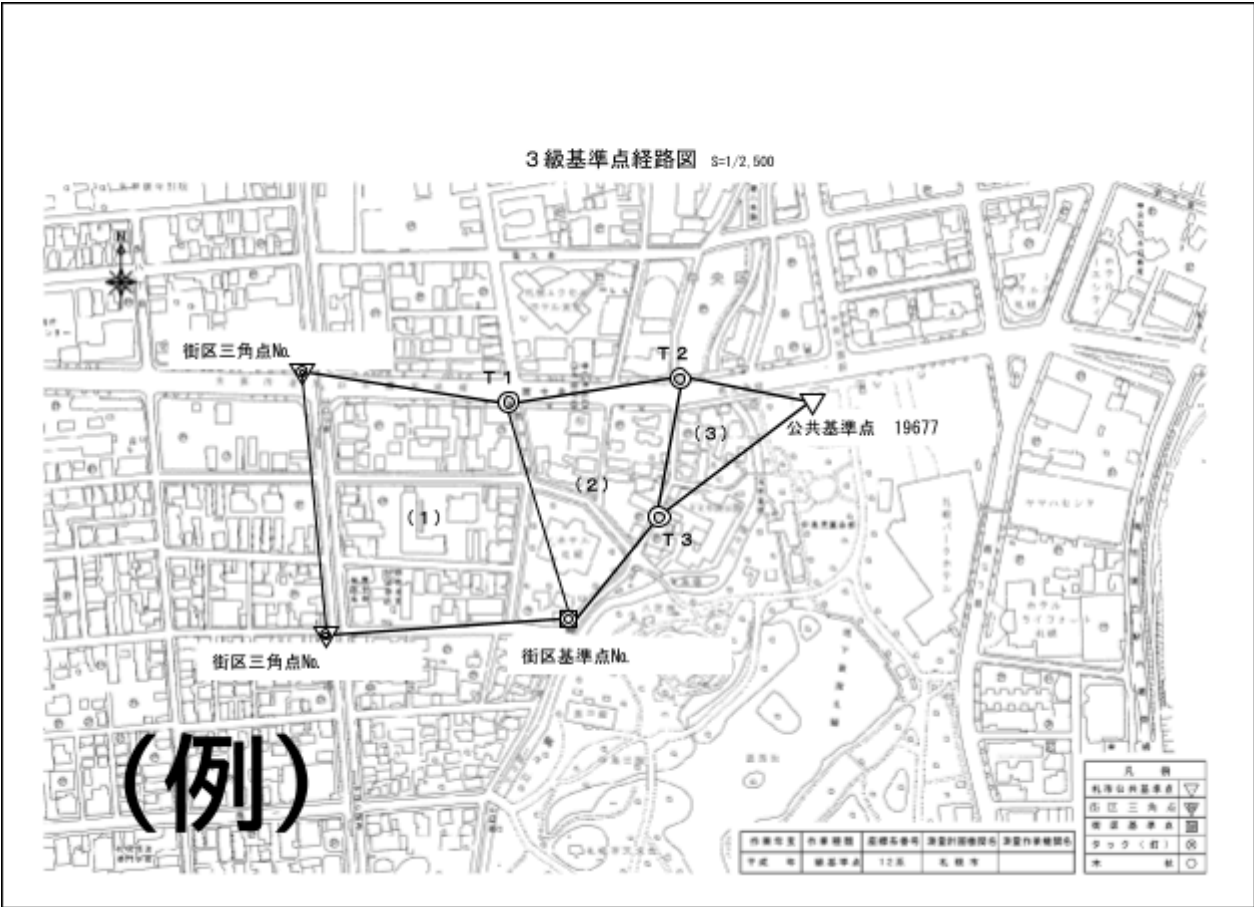
※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。

様式15 基準点経路図（GNSS観測）

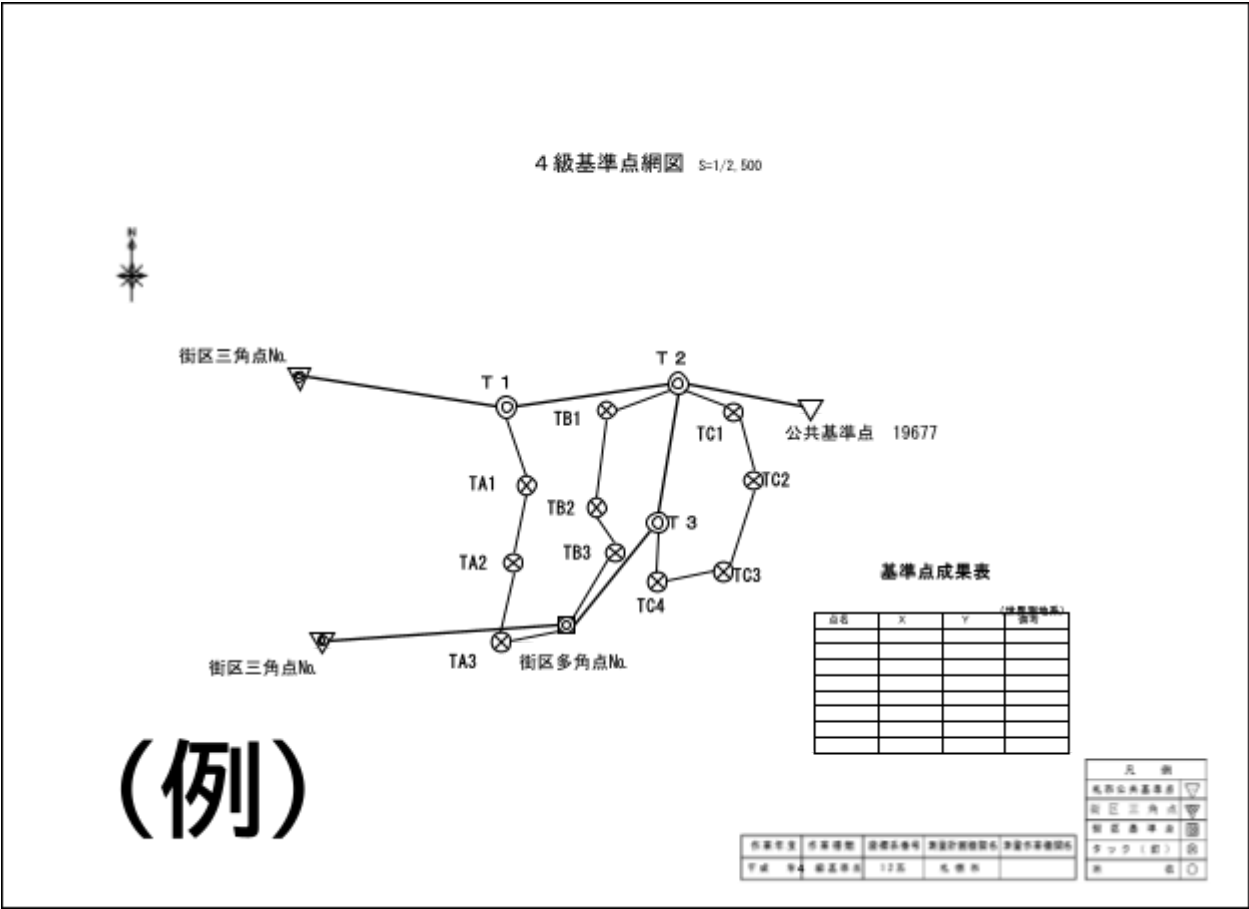
※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品する P D F ファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。
- ※3 電子基準点を使用する場合は、電子基準点までの経路を省略することができる。

様式16 基準点網図（TS等観測）

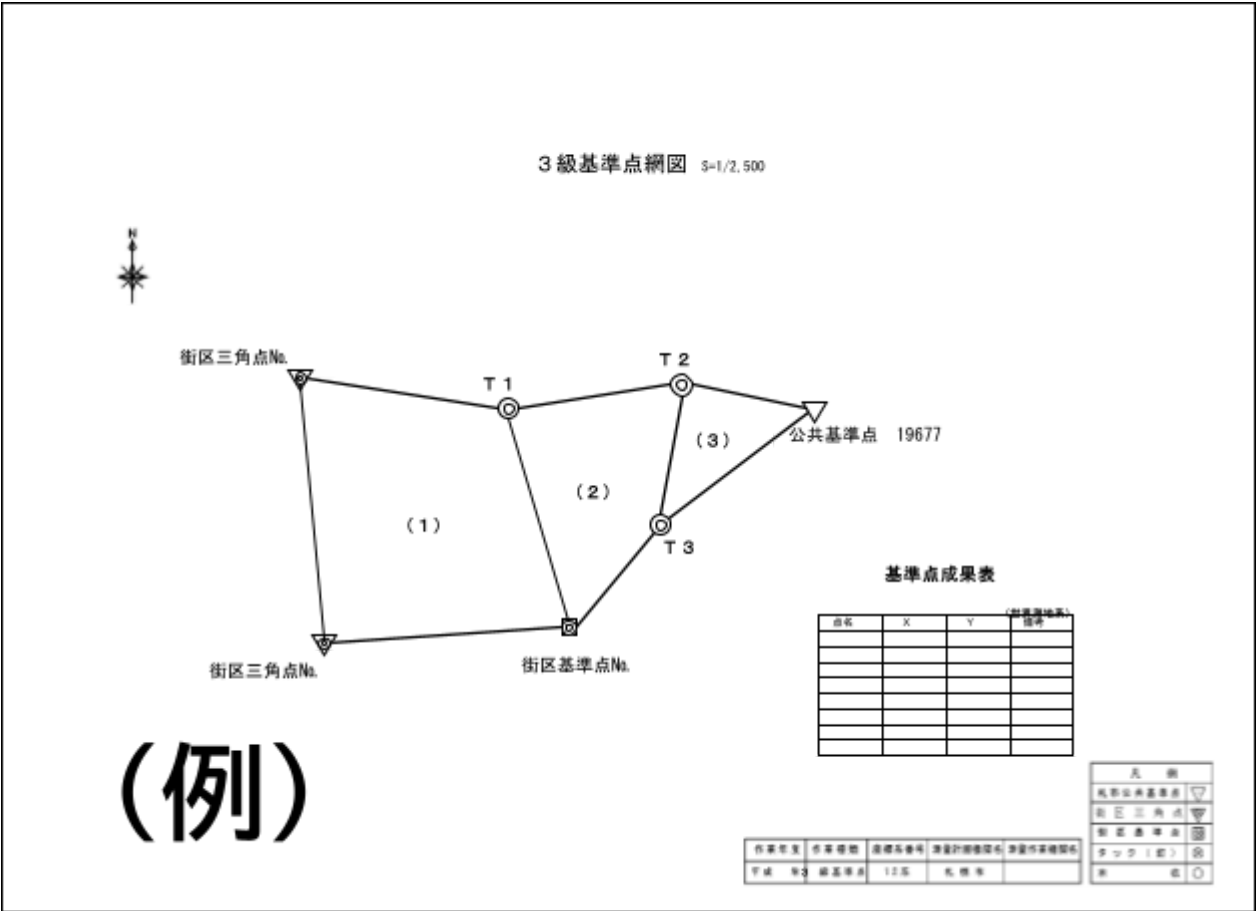
※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 基準点間の方向角及び点間距離は不要とする。

様式17 基準点網図（GNSS観測）

※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品する P D F ファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 電子基準点を使用する場合は、電子基準点までの経路を省略することができる。
- ※3 基準点間の方向角及び点間距離は不要とする。

【1】

(例)

【2】

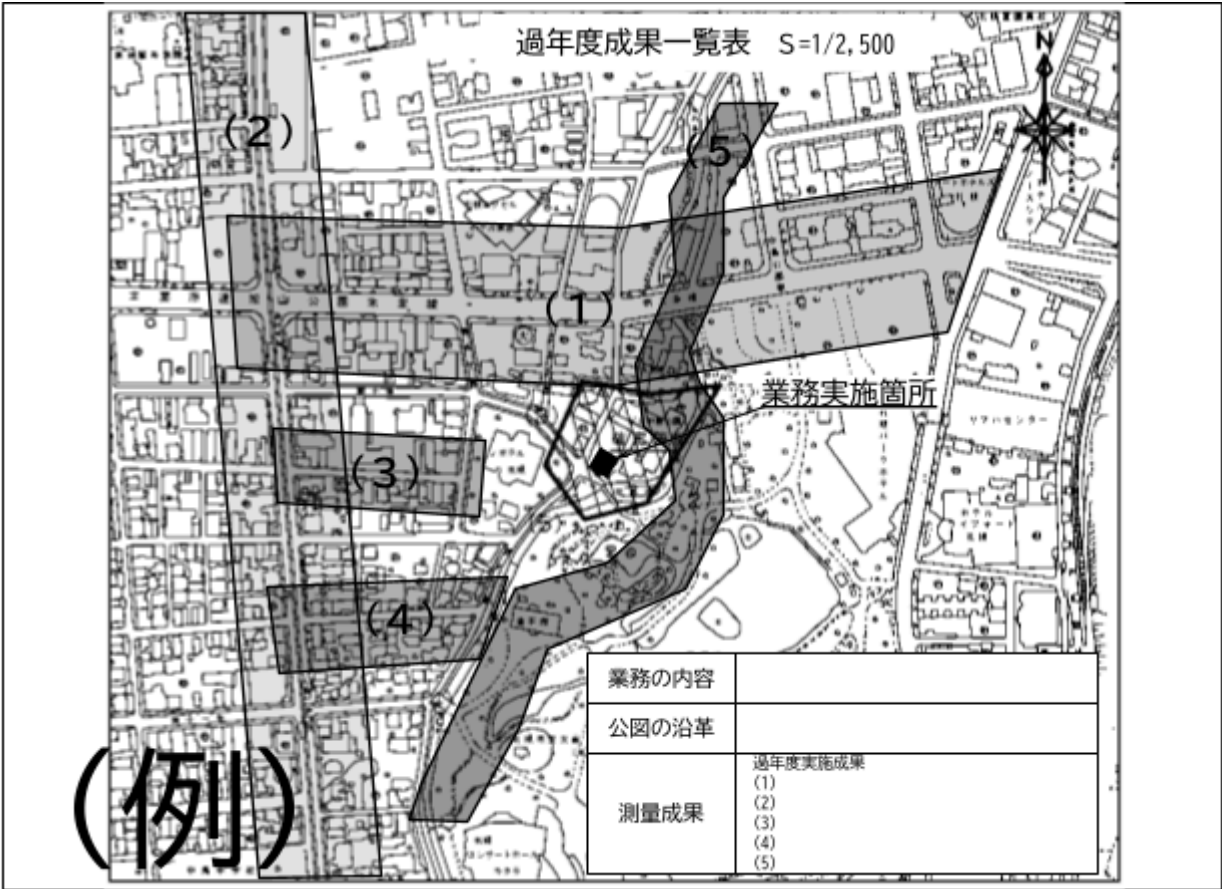
(例)

【3】

(例)

様式19 過年度成果一覧表

※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



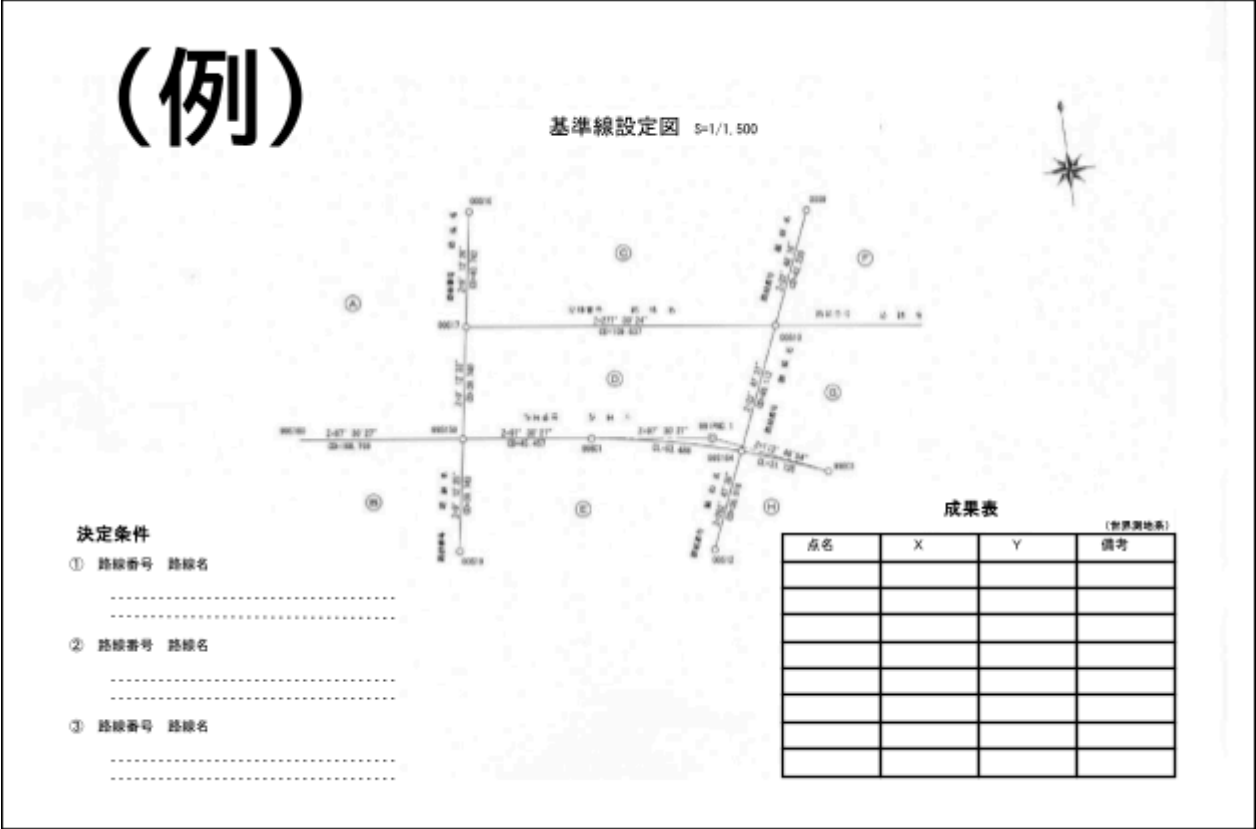
- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 現況図は、地図情報レベル2500から5000程度のものを標準として使用すること。
- ※3 過年度の測量範囲を黒網掛けで分類し、当該地を黒太線又は黒塗りつぶしとする。

[illegible]

- 128 -

様式21 基準線設定図

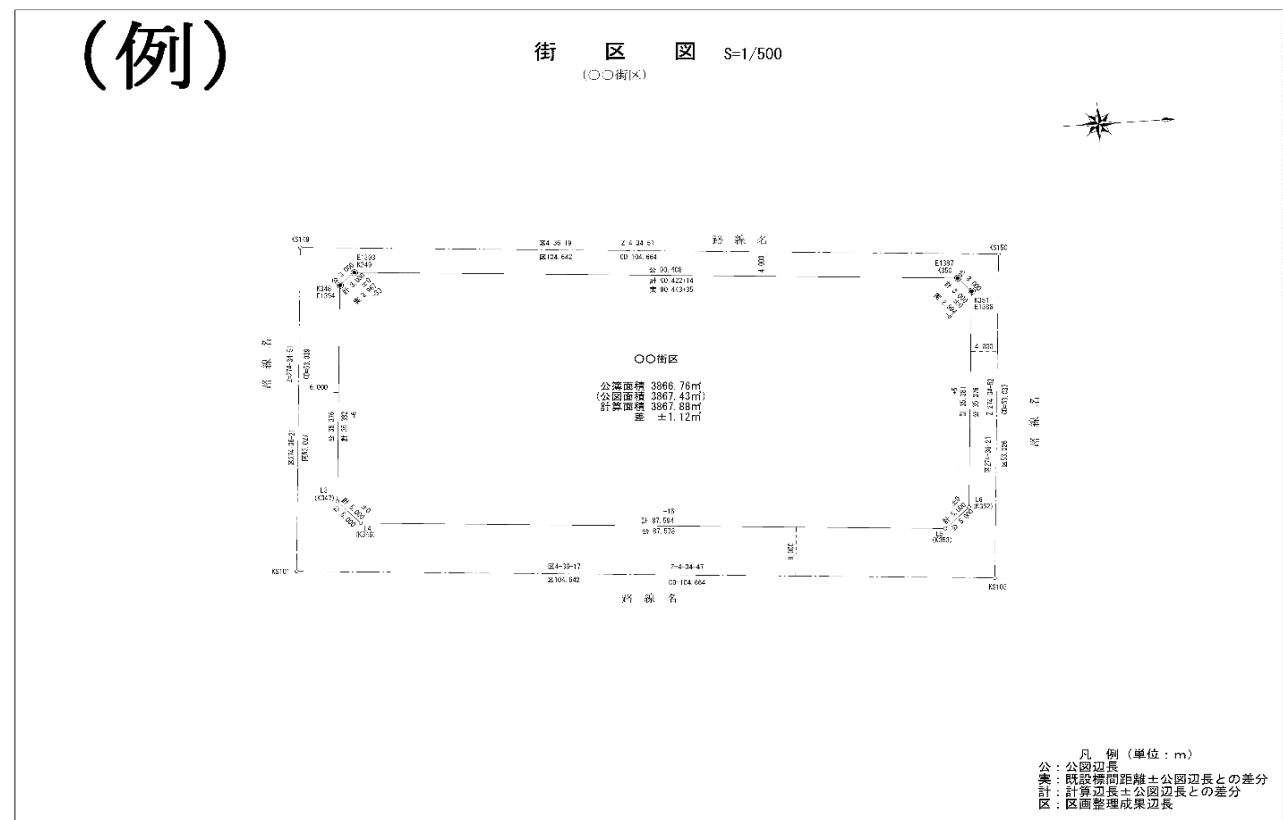
※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



※1 A 4 版又は A 3 版（横長）とする。（電子納品する P D F ファイルは A 3 版横長とする。）
※2 用地測量において同様の目的で作成した「道路基準点網図」及び「中心点網図」についても、本様式を準用する。

ただし、事業完了後に復元した道路中心点等を再観測して図化した中心点網図は、用地測量成果に該当しないので、格納方法等について担当職員と協議すること。

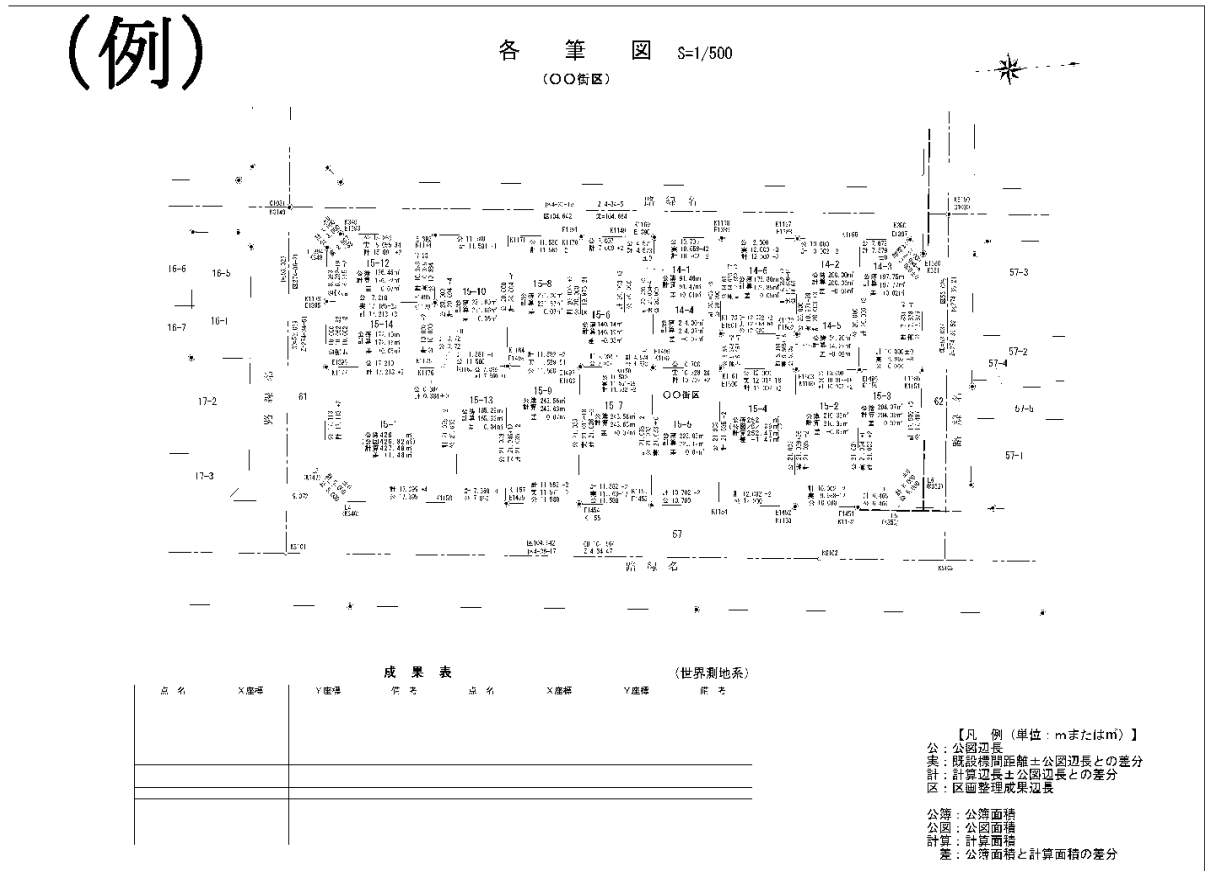
※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品する P D F ファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 公図辺長・計算辺長を記載すること。また、担当職員と協議の上、実測辺長及び既設境界標の位置誤差を記載すること。
- ※3 公簿面積と公図面積が異なる場合は、両方を記載し、公簿面積と計算面積との差分を記載すること。

様式23 各筆図

※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



- ※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA 3 版横長とする。）
- ※2 公図辺長・計算辺長を記載すること。また、担当職員と協議の上、実測辺長及び既設境界標の位置誤差を記載すること。
- ※3 公簿面積と公図面積が異なる場合は、両方を記載し、公簿面積と計算面積との差分を記載すること。

様式24 面積計算書

面積計算書(座標法)

所在及び地番	点の番号	縦線	倍積(Xn) × (ΔYn)	横線	倍積(Yn) × (ΔXn)	
区 条 丁目 1 - 1	99LM5	-115261.670	1447110.266850	-79287.710	697176.834030	地積更正
	99L6	-115260.192	1498497.756192	-79298.920	-308076.304200	所有者 札幌市
	99L5	-115257.785	54977.963445	-79300.711	-833450.472610	地目 宅地
	M1	-115249.682	-1653371.937972	-79299.397	-506405.949242	公簿面積 m ²
	M2	-115251.399	-1346943.100113	-79286.365	950484.943620	公園面積 m ²
				270.948402	倍面積	-270.948402
				面積	135.4742010	

(例)

- ※1 A 4 版、又は A 3 版（横長）とする。
- ※2 地図訂正・地積更正の有無について記載すること。

様式25 求積表

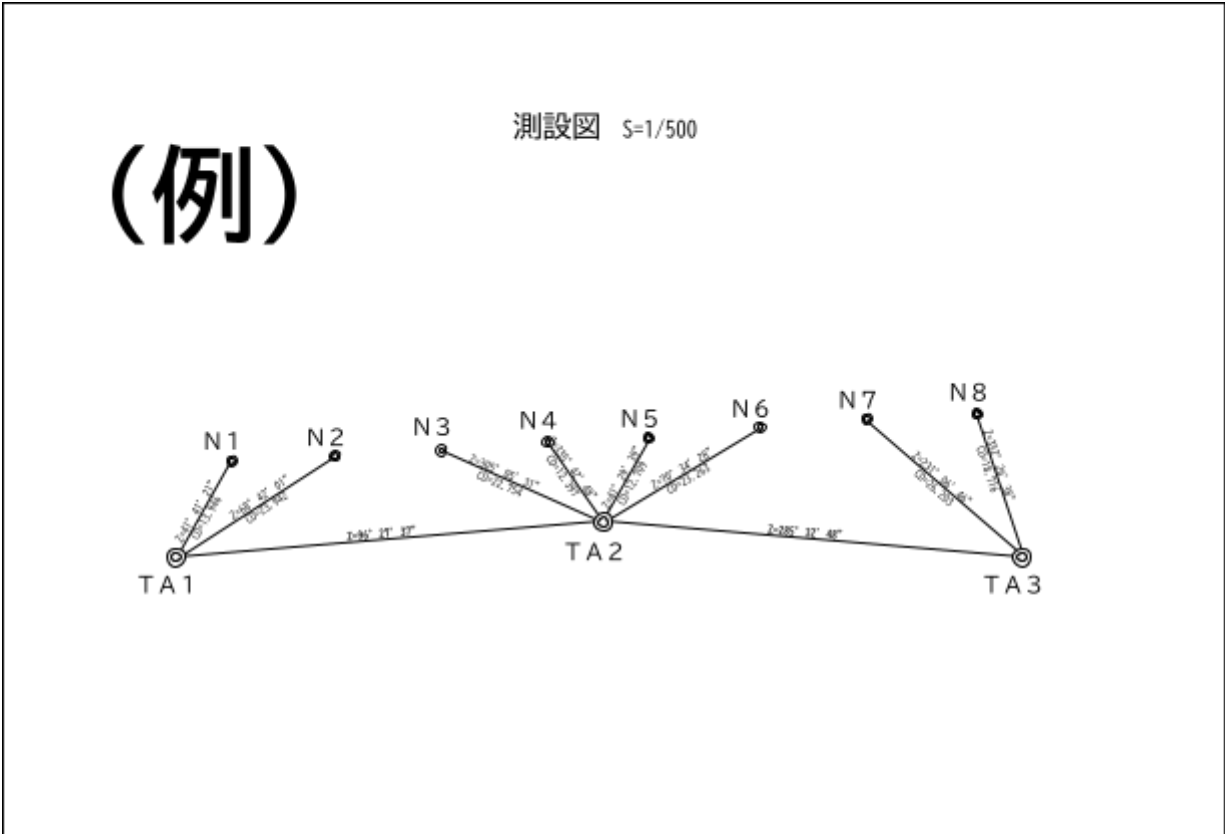
求 積 表								
所 在	所有者	公 簿			実 測 地 積			備考
		地番	地目	地 積(㎡)	求 積 式	潰地積(㎡)	残地積(㎡)	
				公簿 公図 更正				

※ 座標法（経緯距法）による記載例

求 積 表								
所 在	所有者	公 簿			実 測 地 積			備考
		地番	地目	地 積(㎡)	求 積 式	潰地積(㎡)	残地積(㎡)	
〇〇区 〇〇〇	〇〇 〇〇	〇-〇	〇〇	公簿 〇〇,〇〇 公図 〇〇,〇〇 更正 〇〇,〇〇	点名 X座標 Y座標 (ΔX) (ΔX)×(Y) N1 -〇〇〇,〇〇〇 -〇〇〇,〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 N2 -〇〇〇,〇〇〇 -〇〇〇,〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 N3 -〇〇〇,〇〇〇 -〇〇〇,〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 N4 -〇〇〇,〇〇〇 -〇〇〇,〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 ・ -〇〇〇,〇〇〇 -〇〇〇,〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇 ・ -〇〇〇,〇〇〇 -〇〇〇,〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇,〇〇	〇〇,〇〇	例) 地図・地積 更正

※ 担当職員と協議のもと、求積式を省略することも可。

※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。



※1 A 4 版又はA 3 版（横長）とする。（電子納品する P D F ファイルは A 3 版横長とする。）

様式27 成果表

※ 成果物一式を電子納品する場合は、
資料コード枠必要なし。

[illegible]

- ※1 A4版又はA3版（横長）とする。（電子納品するPDFファイルはA3版横長とする。）
 ※2 測地系の種別を明記すること。
 ※3 成果表の列は、一頁あたり最大3列までとする。
 ※4 資料コードが異なる成果は、それぞれ別ファイルに作成すること。
 なお、詳細は 作業要領 第IX章 成果の編集 表-1 表-4 を参照すること。

【資料コード】

$$26 : T, TA \cdot TB \cdot TC \cdot \dots$$

27 : N, L, R

28 : C, E, DE

29 : M, LM, RM, LK, RK

30 : S

31 : K (KN, KL, KRなど)

様式28 境界確認一覧表

(例)

測量台帳コード	備考

境界確認一覧表

整理番号	土地の表示		公簿		土地所有者		立入						確認書類		結果				折衝記録簿	備考
	所在	地番	地目	地積 (㎡)	氏名	登記簿住所	口	世帯	郵便	送達	再郵便	送達不明	度配	郵便	承認	保留	紙留	その他		
						現住所														
1	札幌市〇区1条1丁目	1番1	宅地	123.45.67	札幌 太郎	札幌市〇区1条1丁目1番1		12/13					12/18		12/20					
2	札幌市〇区1条1丁目	1番2	原野	11	札幌 花子 (持分1/2)	札幌市〇区1条1丁目1番2 札幌市△区1条2丁目1番3			12/14					12/19		12/21				○
	札幌市〇区1条2丁目	1番3	宅地	123.47.67	札幌 花子	札幌市〇区1条1丁目1番2 札幌市△区1条2丁目1番3			12/14					12/19		12/21				○
	札幌市〇区2条1丁目	1番1	畑	123.48.67	札幌 花子	札幌市〇区1条1丁目1番2 札幌市△区1条2丁目1番3			12/14					12/19		12/21				○
3	札幌市〇区1条1丁目	1番2	原野	11	札幌 次郎 (持分1/2)	札幌市〇区1条1丁目1番4 札幌市〇区2条2丁目2番2			12/14	12/15	12/16			12/19			12/22			○
4	札幌市〇区1条3丁目	1番3	田	123.4.56	札幌 三郎	札幌市〇区1条1丁目1番4	12/12										12/12			○
5	札幌市〇区1条4丁目	1番4	宅地	12.34	札幌 四郎	札幌市〇区4丁目1番4			12/14	12/15	12/16	12/17						○	○	
6	札幌市〇区1条5丁目	1番5	雑種地	0.98	札幌 五郎	〇〇市1番1			12/14					12/19				○	○	
7	札幌市〇区1条1丁目	1番6	宅地	123.46	〇〇省		12/12						12/18		12/20					
8	札幌市〇区1条2丁目	1番7	宅地	543.21	札幌市 (所管：〇〇課)		12/12						12/18		12/20					
9	札幌市〇区1条1丁目	1番8	公衆用道路	1.23	札幌市															

- ※1 A 3 版（横長）を標準とする。
- ※2 一覧表は 2 部作成する。

ア 担当職員提出用 …………… 境界確認書作成時にあわせて担当職員に提出する。（境界確認願いとこの契印は、上記の氏名欄に押す）
イ 成果物（提出用）…………… 確認結果・備考等を追記し、確認書（承諾書）ファイルの最初に綴る。
- ※3 整理番号欄
確認書（承諾書）の綴り順に応じて整理番号を付ける。
- ※4 備考欄の記載例
 - ① 不承諾理由
 - ② 土地所有者又は確認者の連絡先（TEL）
 - ③ 土地所有者と確認者が異なる場合は、土地所有者から見た、確認者との関係
親族等の場合：配偶者、子、親（親権者）、相続人、後見人、共有者代表、代理人等
法人等の場合：代表者、社員、代理人、承継人等
その他の場合：財産管理人、清算人、管理組合の役職等
 - ④ その他特筆すべき事項を記入する。
- ※5 「立入通知」「確認書類」「結果」の各欄へ、それぞれの日付(月/日)を記入すること。

様式29 境界確認のお願い

(土地所有者の氏名又は名称) 様

令和 年(西暦 年) 月 日
札幌市 第 号

札幌市長

㊟

境界確認のお願い

日頃より、本市のまちづくりにご理解とご協力を頂き、有難うございます。
さて、このたび 測量の結果、

(次頁の枠内記入例より選択)

との境界(朱書)をご確認いただくため、別紙「境界確認書」をお送りさせていただきました。内容についてご確認いただきましたら、ご署名・ご捺印のうえご提出くださいますようお願いいたします。

【自由記載例1】

また、隣接する土地所有者全員の境界確認終了後、別添図の◎印の位置に、札幌市規格の境界杭を埋設することについてご了承ください。

【自由記載例2】

なお、このたび埋設(設置)しました境界杭は、あなた様の所有地と隣接地との境界を示すものですので、関連地権者の皆様とご協力のうえ大切に管理されますようお願いいたします。(該当する境界杭 No. : (例)LM・RM・LK・RK・M・K)

なお、ご不明の点がございましたら、下記へお問い合わせ下さい。

必要に応じて
記入すること。

記

1. 受託者
会社名
担当者
電 話
2. 札幌市担当者
所 属
担当者
電 話

※1 A4版(縦長)とする。

※2 本様式の添付図は、登記資料図面等を使用することを標準とする。

境界確認願い 枠内記入例

1. 境界確認の場合

あなた様の所有地 札幌市 区 条 丁目 番 と隣接する「学校用地・公園用地・住宅用地・道路敷地等」札幌市 区 条 丁目 番（別添、「登記資料図面等・実測図・土地所在図」のとおりに“分筆・地図訂正・地積更正等”）

※ 上記「」内は必要に応じて選択すること。また、登記申請を行う場合は、必要に応じて“ ”内を選択して追記すること。

2. 寄付並びに分筆がともなう場合

あなた様から寄付承諾をいただいております 札幌市 区 条 丁目 番（別添、登記資料図面等のとおりに分筆）と隣接地

3. 事業予定地の場合

事業予定地 札幌市 区 条 丁目 番（別添、登記資料図面等のとおりに分筆）は、あなた様の所有地であります、その土地と隣接地

4. 境界確認が必要な対象地を多量に所有している場合

事業予定地 札幌市 区 条 丁目 番ほか 筆（別紙添付）は、あなた様の所有地であります、その土地と隣接地

【別紙添付例】

事業予定地（所有地）

土地の所在	地番
札幌市〇区 〇条〇丁目	●別添、登記資料図面等のとおりに分筆 〇番〇、〇番〇… ●別添、登記資料図面等のとおりに分筆および地図訂正および地積更正 〇番〇、〇番〇… ●別添、実測図のとおりに 〇番〇、〇番〇… ●別添、土地所在図のとおりに 〇番〇、〇番〇…

関係隣接地（上記以外の所有地）

土地の所在	地番
札幌市〇区 〇条〇丁目	〇番〇、〇番〇…

関係隣接地（その他の土地所有者）

土地の所在	地番
札幌市〇区 〇条〇丁目	〇番〇、〇番〇… 国有地（札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇地先）

5. 事業予定地所有者としての境界確認の他に、他の事業予定地所有者または道路敷地に対する
隣接地所有者としての境界確認が必要な場合

下記土地

※下段の「記」の箇所に一覧表として追加記載する。（以下例参照）

記

【ご確認いただく土地境界】

●あなた様の所有地（事業予定地）の土地境界について

あなた様の所有地 (事業予定地)	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目 〇番〇 (別添、登記資料図面等のとおり〇〇)
関係する隣接地	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目 〇番〇 道路敷地（国有地）

●あなた様の所有地と隣接する事業予定地および道路敷地との土地境界について

あなた様の所有地	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目 〇番〇 札幌市〇区〇条〇丁目 〇番〇
関係する隣接地 (事業予定地および道路敷地)	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇 (別添、登記資料図面等のとおり〇〇) 札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇 (別添、土地所在図のとおり)

【お問い合わせ先】

- 受託者 会社名 〇〇〇〇
 担当者 〇〇 〇〇 (電話：〇〇 - 〇〇 - 〇〇)
- 札幌市担当者 所 属 札幌市〇〇局 〇〇部 〇〇課 〇〇係
 担当者 〇〇 〇〇 (電話：〇〇 - 〇〇 - 〇〇)

6. その他

担当職員と協議すること。

令和 年 月 日

(あて先) 札幌市長

<確認者>

住 所

氏 名

土地所有者から見た関係 ()

境 界 確 認 書

令和 年(西暦年) 月 日付 札幌測 第 号により照会のありました、
下記土地の境界について、別添図のとおりであることを確認しましたので、境界確認
書を提出します。

また、隣接する土地所有者全員の境界確認終了後、別添図の◎印の位置に、札幌市規格
の境界杭を埋設することについて了承いたします。

記

必要に応じて
記入すること。

枠内を、あらかじめ記載しておくこと。

対象地：確認者に確認を求める土地。

隣接地：対象地側から見た確認を必要とする土地。(道路敷地も含める)

対象地や隣接地が多量な場合

対象地	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇 (ほか〇筆 別紙添付) ※3
	土地所有者(名義人)	〇〇 〇〇
隣接地	土地の所在・地番	札幌市〇区〇条〇丁目〇番〇 (ほか〇筆 別紙添付) ※3

注 「境界確認書」と図面が別紙の場合には確認者の書き判又は割印を行って下さい。

※1 A4版(縦長)とする。

※2 本様式の添付図は、登記資料図面等を使用することを標準とする。

※3 対象地や隣接地が多量な場合追記する。

※4 氏名には、本人の署名又は押印が必要。